

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年9月27日(火) 第23号

二学期中間考査まで1週間

- 目標や目的をしっかり持って挑む
- 「クラスのスタンダード」を上げる意識を全員が持つ
- 「勉強時間」をとことん削り出せ
- 「もういいかな」「このくらいで…」をやらない

8/28(日)1年生対象県東大セミナー

8/28(日)前橋女子高校にて、群馬県の高校7校合同での1年生対象東大セミナーが実施されました。東大を始めとする難関大の合格を勝ち取るためには、「早期の意識付け」が必要です。群馬県内の約100名の高校1年生が参加、本校からも約20名参加しました。

企画内容は、地方高校生の東大合格を後押しするサークル「Fair Wind」の東大生に来てもらい、「なんで私が東大に？」と題し勉強方法などの受験体験談、東大の学びや東大生の生活について話をしてもらいました。

午後からは少人数グループに分かれて質疑応答。東大生にたくさんの質問が出ていました。本校出身の東大生も4名参加してくれました。

参加した生徒のアンケートから、「雲の上の存在と思っていた東大生がとても身近に感じられた」「東大生と話ができたことはもちろん、県内の他校の生徒とも交流できて勉強に対する意識が確実に高まった」との感想がありました。



9/9(金)大学生との進路懇談会

9/9(金)放課後には、早稲田大学の学生との交流会を実施。この企画のコンセプトは、大学でやりたいことが見つからないまた、1年生は文理選択、2年生は大学や学部選びで悩んでいる生徒対象に、ここで大学のサークル活動で小中高生にキャリア教育や教育支援をしている早稲田大学の学生を招き、そういった同じ悩みを経験し、現在大学生となっているお兄

さんお姉さんの高校時代や大学生活の話を聞いたり、相談したり、自分とは何かを考えたりする機会・きっかけにしてほしいというもの。1,2年生約80名が参加しました。

来てくれたのは、本校の卒業生が所属するサークル「ISHINOMAKIの朝日プロジェクト」の大学生。まず、全体に大学生が自己紹介をおこない、その後少人数のグループに分かれて大学生と話をしました。参加した生徒の感想を紹介します。



私は国公立を希望していますが、早稲田生と話せる機会はめったに無いと思い参加しました。

私は、部活と勉強と睡眠の時間の使い方に悩んでいるので、早稲田大学に受かるような人たちは高校時代にどうしていたのかを聞きました。

先生方よりも年が近い方々から、また異なった視点の意見を聞くことができ、大学や学部などの情報もたくさん手に入りました。また、悩んでいた心が軽くなり、勉強に対するモチベーションも高められたので、参加して良かったです(*^^*)。はじめは年上の方と話すということで緊張しましたが、和やかな雰囲気の中、優しく明るく対応してくださったので、セッションはとても楽しかったです！

大学生とお話することが初めてだったので、話すことの不安や進路の不安など色々な不安がある中で参加させていただきました。しかし、早稲田大生の皆さんはどんな質問にも熱心に答えてくださったので、不安なんて一瞬でかき消されました。大学生がキラキラしていて、大学生活の楽しさがよく伝わってきたので大学進学に希望が持てました。それと同時にこれからの勉強のモチベーションがぐっと上がりました。この懇談会があったおかげで、悩みがなくなり、勉強に集中できるようになりました。また機会があったら参加したいです。



私は学部選びに迷っているので、今回の進路懇談会に参加しました。懇談会では大学の授業の様子や受験期の話を知ることができました。先生方とは違った視点での話だったので、私の悩みである学部選びへの新たなアプローチ方法が見えました。現役の大学生と直接話せる機会はなかなかないので、参加して良かったと思います。

予告現役医師を招いての講演会（校内医学科セミナー）10/13(木)

保護者対象Web進路講演会 動画配信終了 ご視聴ありがとうございました

- ◎内容（4本の動画）①「卒業生進路状況」 ②「在校生と卒業生の実態状況」
③「前女3年間の進路指導」④「これからの大学入試と前女の戦略」